

企業ガイドブックやまなし2026.3（高卒版）

（ふりがな）

（か） きんだるま

株式会社金多留満

ホームページ
（URL）

<https://www.kindaruma.co.jp/>

（従業員数）

20 名

（平均年齢）

45 歳

（募集職種）

製造 または 接客販売

（求人番号）

19070-123459 / 19070-122559

（求める人材像）

お菓子好き、明るく元気で前向きな人

（企業PR）

金多留満は明治44年、富士吉田市に創業した菓子舗です。金多留満では創業以来専門店として、「伝統」を守り続けており、当店のお菓子は、目で形と色彩をたのしみ、耳で菓銘の文学的な響きを鑑賞し、かぐわしい季節の香りを嗅ぎ、口に食べて風味を味わう、まさに五感を働かせて風雅をたのしむ境地を求めています。

また、お菓子を通じて「富士山の文化、伝統、季節、産物を多くのお客様に伝えること」を目的として商いをしております。

〒 401 - 0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津7407

（事業内容）

和菓子の製造、販売、卸

（福利厚生）

各種社会保険完備（雇用・労災・健康・厚生年金）

交通費全額支給、産休・育休制度

社割、駐車場完備

（先輩からのメッセージ）

私は、高校三年生の夏休みに職場見学会に参加しました。その時に職場の雰囲気や仕事内容が自分にあっていると感じ応募しました。入社後は覚えることが多く大変ですが、お客様に満足してもらえるように頑張って接客しています。お客様も地元客、別荘客、観光客、外国人と多岐にわたります。またニーズも違いお客様にあったサービスを心掛けています。商品内容も勉強してしっかり説明できるように心がけています。

金多留満の包装は「白」

「人は生まれて、死する時まで、節目々に必ず白をまとう。」

上下とも白い着物。吉凶に用いる式服を着た姿を白装束といいます。もとは吉事にも凶事にも白が女の正の色であり、婚礼に白無垢を着ます。本来は神祭りなど神聖な機械に着用する忌衣（いみごろも）で、厳重な物忌みを経て心身ともに清浄であることを示しています。シロは白色ばかりでなく素（しろ）を示す語でもあります。神祭りは晴れ着を着る機会であるため、白衣を晴れ着とし、赤子の産着（うぶぎ）、婚礼の花嫁、葬儀の支社や近親者の服装となっています。

「白」は色であるかと思えたとき、白は色のような感じが色ではないように思えてきました。すなわち、白という色があるのではなく、白と感じる感受性があると考えられたのです。だから白を色として探すのではなく、人の節目々に必ずまとう「白」を感じ取ってほしい。金多留満の基本（色）として「白」でデザインをし「白」を重ねています。特に富嶽篆は、白無垢をイメージし、柄、合わせ、帯、帯紐などを表現しています。



亀甲文様

亀甲はその字が表すとおり、亀の甲の文様です。亀は中国の四神（青龍・白虎・朱雀・玄武）の内の玄武で、神の意を伝える能力を持ち、長寿のシンボルでした。亀の甲を焼いてそのひび割れの方向で占いをし、神の意を考えました。また亀の甲（六角形）が崩れない連続模様で、永遠の反映を願ったものでもあります。

現代の科学では物質を表すものに、炭素原子6個からなるベンゼン核を用います。太古から蜂の巣や雪の結晶も六角形で、自然の中でその形の不思議なパワーを持っていたことが判明されています。

金多留満では、そんな六角形の「亀甲柄」をオリジナルの柄で創作し富嶽篆に用いました。亀甲文様の中に、さらに不規則に違った亀甲柄を並べてデザインしています。また、その中に金多留満の頭文字「金」を不規則にならべ、お菓子ひとつの包装のどこかに「金」の文字が出てくるように工夫しています。見る視点を変え、発想の転換をすることも、良い報告へ進み幸せになるという意味を表現しています。

